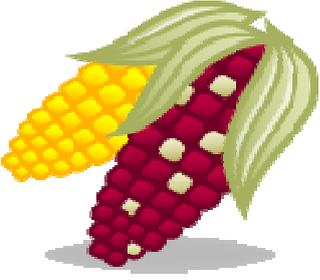


# それゆけ！

# としよかんだより



**2010年9月**

**第41号**

発行所  
高野山大学図書館  
閲覧室

## 古典籍逍遙

【第七回】 図書館長 武内孝善

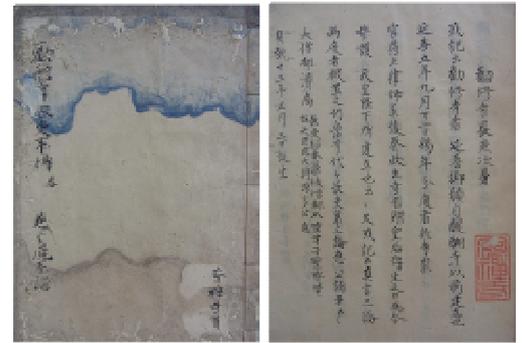
### 『勸修寺長吏系傳略 慈尊院系譜』一冊

【書誌データー】

袋綴装、一冊、江戸時代中期写、たて 27.7cm、よこ 19.9cm、無界、楮紙、半丁 8行・墨付 44紙・表紙とも 49紙(29紙目白紙)、付箋四紙あり、原表紙(墨流し紙)。

今回は、京都山科にある門跡寺院の一つ、勸修寺(「かんじゅうじ」「かんじゅじ」とも訓む)の別当職をつとめた歴代の長吏、並びに同寺子院・慈尊院の歴代の住持を書きあげた『勸修寺長吏系傳略 慈尊院系譜』一冊をご紹介します。

まず『勸修寺長吏系傳略』は、開山の承俊律師の弟子濟高(870～942)を第一代とし、第二十九代の入道親王済深が元禄十四年(1701)十二月に薨去した記事で終わります。『国書総目録』によると同名の写本が宮内庁書陵部と無窮会神習文庫に伝存していますが、本書が一等古く、史料価値が高いといえます。同じ趣旨の史料に

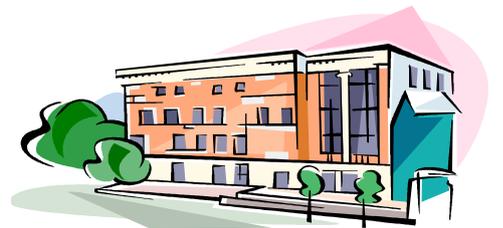
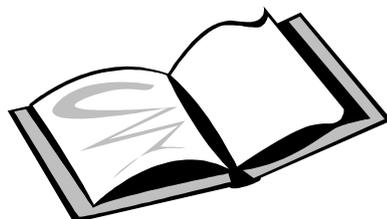


①濟高から延享五年(1748)正月に示寂した第三十代尊孝までを収録する『勸修寺長吏次第』(『続群書類従』所収)、②開山から享和二年(1802)九月に薨じた第三十一代寛宝までを収録する『勸修寺別当長吏補任等古記録』(『勸修寺論輯』2～4号)があります。これらと記事の内容を比べてみると、本書の方がいくぶん簡略です。本書に「略」の字をそえる所以でありましょう。

一方『慈尊院系譜』は、内題を「慈尊院門室代祖次第」とし、開山の行海(1109～1180)にはじまり、第十六代の潤海が正徳二年(1712)九月に報恩院元祖憲深の四百五十年忌を修した記事で終わります。『国書総目録』には「慈尊院系譜」という典籍はみえず、「慈尊院代祖次第」はありますが、典籍名だけで伝存の有無は不明となっています。

同趣旨の史料に、①開山から第十五代の永愿までを収録する『慈尊院次第累祖』(『勸修寺論輯』3・4号)、②開山から永禄六年(1563)九月に入滅した興紹まで十七名の歴代を収録する『慈尊院相承次第』(『勸修寺論輯』3・4号)があります。①は本書とほぼ同じ内容です。ただ本書が一代多く、第十六代の潤海の事績までを収録します。②は、その記事はほとんどが2・3行、多くて5行というきわめて簡略なもので、本書の比ではありません。これより、同類の典籍のなかでは、本書の内容が一番充実しているといえます。

以上、勸修寺の歴代長吏、および子院・慈尊院の歴代住持を記録した史料が比較的少ない今日、本書は参考とすべき一書となるう。



# 図書館の歴史 (3) 図書館職員 木下浩良

昭和4年(1929)に開館式を行った現在の図書館は、高野山で初めての鉄筋コンクリートの西洋建築であることは、前号で紹介しました。木造建築が群立する高野山の中で、図書館をモダンな西洋建築にした訳は分かりませんが、なぜ最新の建築様式である鉄筋コンクリートとなったのかについては、実は理由がありました。それは、昭和元年(1926)に高野山の金堂が焼失して、中に安置されていた弘法大師以来の7体の仏像も灰となってしまい、という大変不幸な出来事が発端でした。

金堂が焼失した時、その側にある御影堂もあやうく類焼しかけましたが、中門の西南に位置する水木商店にあった味噌を同堂の屋根に塗って、火災を免れました。鉄筋コンクリート建築は、火に強いという利点があります。この当時の人々は、火災に対してとても敏感になっていたのです。

次に、図書館建設趣意書の一部を紹介します。「(前略)高野山内寺院には密教に関する秘籍宝典に乏しからざるのみならず、余乗<sup>よじょう</sup>其他貴重なる宝典文書を伝持す<sup>いせども</sup>と雖も是れを統一的に整理分類して閲読研究に便ずる図書館を有せざるは深く内外人の遺憾とする所なり。(中略)我国に於ける宗教研究が他の学術に比して遅れつつあるは精神文化の向上を阻害するものにして、健全なる文明進歩を促す所以にあらず。特に高野山の所蔵する宝冊典籍は国家思想の涵養と深玄なる哲理の探究に資する所多く、其の開放は学界人の渴望する所ならん。(中略)日本文化の大恩師たる大師の御遺徳を記念し奉らん為め高野山図書館を建設し健全なる文化の発達に資するは最も緊要なる事業たると共に高祖に対する報恩の一端のみならず、高野山大学の完成上より見るも一大急務なりとす」。この一文を一読するだけでも、図書館建設に携わった建設委員の高徳の方々の、並々ならない心意気が感ぜられます。

(つづく)

## 図書館通信

### 第3回図書館文化講座を開催しました！！

7月15日(木)

演題『アメリカ宗教事情-仏教を中心として-』

講師：パトリック・オニールさん(大学院修士課程)

英語と日本語が交わり合った、ユーモラスな楽しい講演でした。多数のご参加ありがとうございました！



### ●第4回図書館文化講座●

演題：『感染症の恐怖-予防対策-』

講師：丑木晶子さん(高野山大学4回生)

渡辺三千代さん(同2回生)

野村知子さん(同1回生)

日時：9月30日(木) 16:40~17:40

場所：高野山大学本館2階205号教室

学生さん・一般の方どなたでも無料で参加していただけます！

当日直接会場にご参集下さい。お待ちしております

2010年8月の開館予定表						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

2010年9月の開館予定表						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2

	9:00-18:00		13:00-18:00
	9:00-17:00		9:30-16:30
	9:00-19:00		閉館

切り取り

(編集後記)

9月27日(月)からは貸出冊数に変更になります!「今、何冊借りているかわからない!」という方は、閲覧室カウンターで図書館員にお尋ね下さい!(石原)

発行所

〒648-0280

和歌山県伊都郡高野町高野山385高野山大学図書館 閲覧室

Tel:0736-56-3835

Fax:0736-56-5590

E-mail service-lib@koyasan-u.ac.jp

